

Hi there!
はいさい!
你好!

ニュージャージー州出身。
2024年8月1日国際交流員
(CIR)として浦添市役所
国際交流課に配属。

ゆくいみそ〜れ〜!

お世話に
なりました

smells yummy talk
最終回
and journey talk

原文・和訳
ジェイソン チェン
JASON CHENG

あり外交(ありがとう)

浦添市に来て、もう2年が経とうとしています。「外交」と聞くと、首脳会談や国際会議など、国々の交渉を思い浮かべる人も多いかもしれません。私も着任当初、国際交流員(CIR)の仕事と聞いて、表敬訪問の通訳や翻訳など、少し堅い仕事を想像していました。もちろん、それも外交の一面です。しかし、その土台には、普段はあまり注目されない地道な交流があり、相互理解や信頼関係に繋がるのだと思います。こども園や児童センターで子どもたちと遊んだり、図書館で読み聞かせをしたり、市役所で困っている外国人を案内したり。そして、このコラムを書くこともそうでした。

10年後、私が教えた英単語やアメリカの豆知識を覚えている子どもたちは少ないかもしれません。それでも、「一緒に遊んでくれたアメリカ人のお兄さんがいた」と覚えていてくれるなら、それだけでも公共外交の役割は果たせたのではないかと思います。外交は、政府や外交官特有の権力ではない、私たち一人一人も、日々の交流を通じてその一端を担うことができます。これから浦添市の「国際性ゆたかなまちづくり」が今後のCIRや市民の皆さんに受け継がれていくことを願っています。

2年間、本当にありがとうございました。

DiplomaSee-You-Later

It's difficult to believe that two years have passed since I arrived in Urasoe. When people hear the word "diplomacy," many often think of negotiations between countries; summit meetings, international conferences, and etc. When I first started as a Coordinator for International Relations (CIR), I also imagined the job to be strict and filled with formal duties such as delegation interpretations and translation works. While those are certainly significant aspects of diplomacy, they are built upon the steady, often unseen efforts that take place every day that ends up fostering mutual understanding and trust between people. Playing with children at kindergartens and children's centers, reading books at libraries, guiding troubled foreigners at the city hall, and even writing this column are all forms of that foundation.

Ten years from now, few of the children I met will probably remember the English words or trivia about America, I taught them. However, if they remember that they played with a friendly American, then I believe I'll have fulfilled my role in public diplomacy. Diplomacy isn't a privilege known only to governments and diplomats, each and every one of us, can participate through simple daily exchanges. And I wish that Urasoe's efforts towards becoming a culturally rich and international city will continue to be carried forward by future CIRs and its residents.

Thank you very much for the past two years.

次回の8月号はお休みして、9月号は1ページの拡大版でお届けするよ! たくさんのご応募お待ちしております!

浦添市公式 Instagramにも投稿してるよ!

てだっ子STUDIO

てだこキッズファースト 宣言大使 てだ子



あおま 翁長 碧真 ちゃん (8か月)



わく 宜志 富 ちゃん (3か月)



おちい 大城 りん ちゃん (3か月)

写真募集中!

【募集対象】市内在住の0~9歳のお子さん
【応募方法】右記の二次元コードから①お子さんお名前②ふりがな③年齢または月齢④居住区⑤一言コメントと、画像データ(JPEG等)を添付し送信してください。



応募はこちら▲

●写真は、お子さんの顔全体が写っているもの(たて撮り推奨)
●これまでに掲載されていないお子さんを優先します。
●応募者多数の場合は、抽選の上、掲載します。掲載の可否については連絡いたしませんのでご了承ください。



浦添市長 松本 哲治
Tetsuji Matsumoto

「ひとめぼれ」

私はもともと衝動買いというものをしないタイプである。あまり欲しい物はなく、身の回りにあるものはシンプルでいいという考え方で、何かを熱心に集める趣味もない。

先日、そんな私に小さいけれども鮮やかな変化が訪れた。出逢ってしまったのは、伝統的な「花笠」をモチーフにした琉球漆器のお菓子入れ。南国の陽射しを閉じ込めたような独特の朱、すべてを吸い込む漆黒の黒、そして何より、あの木工ならではのしっとりとした馴染む肌触りがたまらなかった。



考えてみると、私が市長室で愛用しているコーヒーカーブも琉球漆器である。それならと市長接室に今回の琉球漆器のお菓子入れを置くことにした。ぜひ見に来てほしい。かつて「日本酒を飲むなら漆器が一番いい」と聞いたことがある。ならば、泡盛を飲むなら琉球漆器が一番うまいに違いない。沖縄には「やちむん」や「琉球ガラス」という素晴らしい酒器も溢れているが、私はあえて琉球漆器を推していきたく、あまりお酒は飲めないけれど。

きつとソーキ汁も中身汁もイナムドゥチも、琉球漆器が一番おいしいはずだ。市長室のコーヒーカーブだって、こんなにうれしいのだから。



簡単!健康!サッと作れる! サッとごぼん

15分

+103品目+

うま味がしみ込む! なすと豚肉の冷やし煮びたし



材料(2人分)

- ・なす.....中2本
- ・豚バラ(しゃぶしゃぶ用).....120g
- ・片栗粉.....適量
- ・油.....小さじ1
- ・めんつゆ(4倍濃縮).....50ml
- ・水.....180ml
- ・おろししょうが(チューブ).....2cm

作り方

- ①なすをななめ薄切りにして水にさらし、ザルにあげて水気をきる。フライパンに油をひいて中火で熱し、なすを炒める。蓋をして弱火でしんなりするまで加熱する。
- ②豚肉を食べやすい大きさに切って片栗粉をまぶし、鍋に沸かしたお湯でさっとゆでる。火が通ったらザルにあげ、水気をきる。
- ③容器にAを入れて混ぜ合わせ、①のなすと②の豚肉を加えて冷蔵庫で10分ほど(時間外)浸したら完成!

栄養成分表示(1人あたり)
エネルギー 272kcal
食塩相当量 1.3g
野菜 130g

うめ〜しポイント

さっぱりして食べやすい、夏にぴったりの一品です。なすのほかにも、ピーマン、大根おろしなど好みの食材を加えるのもおすすめです!



レシピ提供: こども家庭課 藤原 萌衣